

金子候補が当選、新しい展望を切り開く!

金子後援会・宮嶋後援会が結束・知事後援会やわら会が応援

永栄借俵

えい えい かい こう

発行 者 設 楽 健 夫
TEL 02



コロナ感染
検査体制!
治療支援!
体制充実を!

県議選開票結果

金子敏明	9028
外塚 潔	6433

(2595票の大差で当選)



市長と連携した
市政発展へ
宮嶋市長と喜びの万歳

勝利の笑顔、清明の未来を切り開く金子候補

県議選で金子候補が当選。得票差は2595票

「市長と連携した市政発展を訴える」金子後援会と宮嶋後援会が固く手を結び、大井川後援会やわら会が応援、地元旧志筑村8集落が結束、熱気は終盤に一気に盛り上がった。高倉区長の「頑張ろう三唱」は「勝つぞ三唱」にかわり、終盤の街頭演説を盛り上げる。9日セイミヤでの街頭演説には150人、最終日千代田ショッピングセンターには300人を越える応援団で「勝つぞ」コールがこだました。宮嶋後援会は会員に支援を呼びかけ、沢山の人がかけつけ奮戦し、宮嶋市長が先頭に立った。政治倫理条例を紹介し「①クリーンであること ②未来志向であること ③知事、市長とのパイプを築ける」を力説し、金子候補を全力で応援、最終日には選挙カーで、ともに支持を訴えました。政治倫理条例反対議員が応援するも外塚候補は敗退した。

正々堂々八正道 正見 正思惟 正語 正業 正命 正精進 正念 正定

「宮嶋市長JA上乘せ支援要請に対応を指示」
「肥料値上げ分7割支援・改良区電気料値上げ分補助・米作次期作支援1反歩2千円補助議案可決」

12月定例議会

政治倫理条例を「否決」 桜井繁行議員が「反対討論」

「市政誕生から17年間、何も問題がなかった」「政治倫理条例は時期尚早」
（市長贈収賄で逮捕・市長家族脱税有罪判決事件を容認）
議員の一親等の経営企業が3年間に17億の受注(矢口議員 賛成討論)

【争点】

【賛成討論】「かすみがうら市は、その初代市長である鈴木光男市長が、汚職発覚で逮捕されるといふ、非常に残念な歴史があり、2代目の坪井市長も家族が経営する会社が脱税で摘発され有罪判決が下されました。だからこそ、このような負の遺産、談合体質から完全に脱退するために、政治倫理条例が必要です」

【反対討論】「市政誕生から17年間何も問題がなかったので制定に至らなかったとも言えるのではないか、上位法である、地方自治法、憲法で裁かれる。これも当然であり政治倫理条例制定は時期時期尚早であり、急ぐ必要はない。」

平成26年5月27日 最高裁合憲判決 「市議2親等以内の契約制限は合憲」

「議員の公正さや議会の信頼を保つための正当な規制」
「市議の2親等以内の親族が経営する会社と市が公共工事の契約をすることを制限した広島県府中市の政治倫理条例が憲法に反するかどうかの訴訟の上告審判決。」

政治倫理条例に

◎賛成した議員

矢口龍人
佐藤文雄
設楽健夫
吉村慎治
金子 遥

●反対した議員

桜井繁行
鈴木良道
中根光男
加固豊治
田谷文子
川村成二
小倉 博
櫻井健一
来栖丈二
鈴木貞行

JA水郷つくば 緊急要請

市議会議員 長殿

JA水郷つくば農業協同組合

代表理事組合長 池田 正

原油価格の高騰や物流費上昇に伴う農業生産資材の高騰等により生産コストは確実に上昇し、米や野菜価格の一般的な低迷と相まって、農業所得(手取り)は、現状、大幅に減少しております。加えて

記

生産資材高騰対策にかかる緊急要請

一、地方創生臨時交付金を活用した支援の上乗せ
国による緊急支援(肥料価格高騰対策事業)が措置されましたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した自治体による創意工夫した自治体による創意工夫ある支援の上乗せをお願いします。
令和4年8月30日

活用事例 (JA茨城) 資料・燃油・肥料・給食消費 拡大・ハウスマルチ資材支援

「コンバイン等農機具販売、大型農機以外売れない」こんな話を聞きます。

米価1俵10600円では一般農家は営農継続が困難になっています。米価アップ、キロ250円以上が最低ラインです。基幹産業が危機ラインにあります。
①飼料②肥料③燃油高騰対策、④水田活用交付金の拡大。麦大豆飼料作物の栽培・食糧支援の交付金・消費拡大、地産地消の学校給食・子ども食堂等食糧支援制度、価格保証、所得緊急支援制度が必要です。

一般質問要旨
次期作・肥料補助金について伺う。

国が、化学肥料の低減や堆肥等の国内資源の活用等の取り組みを行う農業者に対し、令和4年6月から令和5年5月までに、本年の秋肥と来年の春肥として使用するために注文・購入した肥料が対象となり、前年度から増加した肥料費について、その7割が支援金として交付されます。原則、肥料を購入した店舗での申し込みとなります。

肥料コスト上昇分の一部を支援する「肥料価格高騰対策事業」



認定農業者に一律10万円
主食用米に一反歩2千円
肥料七割補助

市内認定農業者及び認定新規就農者に対して、燃料価格及び農機具等価格の高騰による影響を緩和し事業継続を支援するため、一律に10万円の支援金。
水田営農実施計画

市内の主食用米生産者に、米1俵500kg以上生産している方へ一反歩2千円の支援一時金を支払います。

書を出し主食用米を500kg以上生産している方へ一反歩2千円の支援一時金を支払います。

霞ヶ浦北浦は訴える！

令和4年10月28日

霞ヶ浦北浦の不漁対策に係る要望書

行方市漁業振興協議会長 鈴木周也

霞ヶ浦北浦の漁獲量は、1978年(昭和52年)の17500トンとピーク時に、2020年(令和2年)には、わずか6700トンとピーク時の4%にまで減少しました。特に北浦では、2019年(令和元年)以降、主要な漁獲対象種であるワカサギ、シラウオ、テナガエビ、ハゼのいずれも極端な不漁が続いており、今年もワカサギ漁でも、1隻あたり2〜4匹の水揚げしかなく、ほとんどの船が出漁を諦めざるを得ない状況です。また、この傾向は霞ヶ浦でも現れつつあり、ワカサギ解禁後の漁模様は過去10年で最も低い「不漁」の水準となっております。ここ数年の極端な不漁は、夏の高水温で暑さに弱いワカサギが減耗したことやアメリカナマズ等による食害などが原因と考えられている一方で、長期的には霞ヶ浦開発事業による淡水化などの環境の変化も大きく影響しているものと考えられます。

こうした状況を少しでも改善していくため、私ども協議会は、ワカサギの人工ふ化を始め、ヨシ等水生植物帯の保全、ウナギの放流、アメリカナマズの駆除等の不漁対策に取り組んでいます。しかしながら、長期的な環境の変化にも対応し、霞ヶ浦北浦の漁業を持続可能な産業として存続させていくためには、国や県の協力を必要とします。国や県の協力の下、これまで以上の積極的な取組が必要となります。よって、国におかれましては、霞ヶ浦北浦の漁業関係者の窮状を御理解いただきたくとも、下記の事項について、特段の配慮を賜りますよう強く要望します。

- 1 霞ヶ浦北浦の不漁原因の究明とその対策に必要な財政的な支援を講じること。
- 2 高水温に強い新たな漁獲対象種の検討・導入等に対する支援策を講じること。特に、ウナギ種苗放流量は我が国のウナギ資源の回復にも大いに寄与しているため、その拡充に必要な 財政的な支援を講じること。
- 3 アメリカナマズ等の食害による被害を軽減するため、漁業者等が行う駆除活動に対する補助金など、財政的な支援を講じること。
- 4 霞ヶ浦北浦の水質保全等、湖沼の環境保全のための対策を強化すること。
- 5 霞ヶ浦北浦の内水面漁業者の経営体質強化に向けた支援策を講じること。

霞ヶ浦北浦水産振興協議会での協議が求められます。

霞ヶ浦北浦水産振興協議会(会長) 行方市長、(副会長) 霞ヶ浦漁協、北浦漁協(理事) 土浦市、潮来市、銚田市、小美玉市、美浦村の市長・村長、霞ヶ浦漁協玉造・美浦・北浦の各支部長、水産加工業協同組合長。(常任理事) 県霞ヶ浦北浦水産事務所長、(監事) かすみがうら市長、北浦漁協大野支部長